

FortiGate Ver.5.0 MR4 Patch4
Information
第 1.0 版

改訂履歴

発行年月	版 数	改版内容
H29.4	第 1.0 版	初版発行

目次

1. はじめに	3
2. アップグレードパス	3
3. サポート機種	4
4. アップグレード注意事項	4
5. FortiAnalyzer サポートについて	7
6. FortiManager サポートについて	7
7. FortiAP サポートについて	7
8. FortiExplorer サポートについて	7
9. Explicit web proxy ブラウザサポートについて	8
10. SSL-VPN サポートについて	9
11. 仮想ソフトウェアサポートについて	10
12. 推奨 Web ブラウザ	10

1. はじめに

本マニュアルは FortiGate の OS バージョンを弊社推奨バージョン Ver5.0 MR4 Patch4 へアップグレードする際の注意事項について記載しています。

具体的なアップグレード手順については、以下の手順書を参照ください。

http://gold.nvc.co.jp/supports/fortinet/OS/Fortigate_Ver5.4_VersionUp_Manual_v1.pdf

2. アップグレードパス

現在ご利用の OS バージョンによっては、バージョンアップを段階的に行う必要がございます。下記の表をご参照いただき、ご利用バージョンに合わせたアップグレード手順を行ってください。

※現在の Ver.		パス 1		パス 2		パス 3		パス 4		パス 5		ターゲット
5.4.2 – 5.4.3 5.2.9 – 5.2.10	→	–		–		–		–		–		5.4.4
5.4.1	→	5.4.3	→	–		–		–		–		5.4.4
5.4.0 5.2.8	→	5.4.2	→	–		–		–		–		5.4.4
5.2.6 – 5.2.7 5.0.12	→	5.2.9	→	–		–		–		–		5.4.4
5.2.5	→	5.2.7	→	5.2.9	→	–		–		–		5.4.4
5.2.4 5.0.11	→	5.2.6	→	5.2.9	→	–		–		–		5.4.4
5.2.3	→	5.2.5	→	5.2.7	→	5.2.9	→	–		–		5.4.4
5.2.1 – 5.2.2	→	5.2.3	→	5.2.5	→	5.2.7	→	5.2.9	→	–		5.4.4
5.2.0	→	5.2.2	→	5.2.3	→	5.2.5	→	5.2.7	→	5.2.9	→	5.4.4
5.0.13–5.0.14	→	5.2.10		–		–		–		–		5.4.4
5.0.10 4.3.16 – 4.3.19	→	5.0.14	→	5.2.10	→	–		–		–		5.4.4
5.0.9	→	5.0.11	→	5.0.14	→	5.2.10	→	–		–		5.4.4
5.0.6 – 5.0.8	→	5.0.9	→	5.0.11	→	5.0.14	→	5.2.10	→	–		5.4.4
5.0.4 – 5.0.5	→	5.0.7	→	5.0.9	→	5.0.11	→	5.0.14	→	5.2.10	→	5.4.4
4.3.11 – 4.3.15	→	4.3.19	→	5.0.14	→	5.2.10	→	–		–		5.4.4
4.3.1 – 4.3.10 4.3.0	→	4.3.11	→	4.3.19	→	5.0.14	→	5.2.10	→	–		5.4.4

※バージョンの値は、次のような表記形式となります。

例：5.0.4 = FortiOSver5.0 patch4，4.3.11 = FortiOSver4.0 MR3 Patch11

3. サポート機種

FortiOS Ver5.0 MR4 Patch4 をサポートしている機種は下記の通りです。

FortiGate	FG-30D, FG-30E, FG-30D-POE, FG-50E, FG-51E, FG-60D, FG-60D-POE, FG-70D, FG-70D-POE, FG-80C, FG-80CM, FG-80D, FG-90D, FG-90D-POE, FG-92D, FG-94D-POE, FG-98D-POE, FG-100D, FG-140D, FG-140D-POE, FG-200D, FG-200D-POE, FG-240D, FG-240D-POE, FG-280D-POE, FG-300D, FG-400D, FG-500D, FG-600C, FG-600D, FG-800C, FG-800D, FG-900D, FG-1000C, FG-1000D, FG-1200D, FG-1500D, FG-1500DT, FG-3000D, FG-3100D, FG-3200D, FG-3240C, FG-3600C, FG-3700D, FG-3700DX, FG-3810D, FG-3815D, FG-5001C, FG-5001D
FortiWifi	FWF-30D, FWF-30E, FWF-30D-POE, FWF-50E, FWF-51E, FWF-60D, FWF-60D-POE, FWF-80CM, FWF-81CM, FWF-90D, FWF-90D-POE
FortiGate VM	FG-SVM, FG-VM64, FG-VM64-AWS, FG-VM64-AWSONDEMAND, FG-VM64-HV, FG-VM64-KVM, FG-VMX, FG-VM64-XEN

4. アップグレード注意事項

Default log setting change

FortiGate5000シリーズのディスクロギングはデフォルトで無効になっており、CLIからのみ変更可能です。すべての2U,3Uモデル(FG-3600/FG-3700/FG-3800)でも同様にディスクロギングはデフォルトで無効になっております。SATAディスクをサポートしているすべての1Uモデルおよびデスクトップモデルにおいてはディスクロギングがデフォルトで有効になっております。

FortiAnalyzer Support

バージョン5.4では、FortiGateとFortiAnalyzer間のログ転送にSSL暗号化通信が利用されますのでこれまでオプションでIPsecを利用されていた場合、SSLへの設定変更が必要になります。

Removed SSL/HTTPS/SMTPTS/IMAPS/POP3S

FG-100D未満のモデル(FG-80C,FG80CMを除く)ではサーバロードバランス機能から次のタイプが削除されました。SSL/HTTPS/SMTPTS/IMAPS/POP3S

FG-900D and FG-1000D

トラフィックの入出力ポートが異なるNP6チップ上にある場合、CAPWAPトラフィックはオフロードされません。入出力ポートが同じNP6チップに属している場合にのみオフロードします。

FG-3700DX

CAPWAP over GRE (CAPWAP+ TP2のカード)はサポートされません。

FortiGate units and managed by FortiManager 5.0 or 5.2

FMG(ver.5.0.0、5.2.0)で管理されているFortigateは、factory reset、またはポリシーがリストアされた後に新規作成されたVDOM上で、レポートの取得に失敗することがあります。

FortiClient Support

FortiOS5.4.1以降ではFortiClient5.4.1以降のバージョンのみをサポートしておりますので、FortiGateより先にFortiClientのアップグレードを実施してください。

FortiClient (Mac OS X) SSL VPN Requirements

Mac OS X 10.8でSSL-VPNを使用される場合、FortiOSでSSLv3を有効にしてください。

FortiGate-VM 5.4 for VMware ESXi

VMware ESXi (全モデル)でFortiOS5.4.4にアップグレードされる場合、VMXNET2 vNICドライバはサポートされません。

FortiClient Profile Changes

FortiOSにCooperative Security Fabricを導入すると、FortiClientプロファイルはFortiGateで更新されます。現在、FortiClientプロファイルとFortiGateは主にエンドポイントコンプライアンスに使用され、Enterprise Management Server (EMS)はFortiClientの展開とプロビジョニングに使用されています。

FortiGateのFortiClientプロファイルで、Non-Compliance Actionの設定をAuto-Updateに設定すると、FortiClientプロファイルは、ウイルス対策、Webフィルタ、脆弱性スキャン、アプリケーションファイアウォールなどのコンプライアンスに関連するFortiClient機能の限定的なプロビジョニングをサポートします。

Non-Compliance Action設定をBlockまたはWarnに設定すると、FortiClient EMSを使用して、VPNトンネルやその他の高度なオプションなどの追加機能が必要な場合でも、エンドポイントをプロビジョニングできます。詳細については、下記アドレスに掲載のドキュメントを参照してください。

<http://docs.fortinet.com/d/fortigate-security-profiles-540>

Log Disk Usage

FortiGateのディスク使用量はロギングかWAN最適化で切り替え可能です。

サポートされている機器一覧は、下記ページをご参考下さい。

<http://docs.fortinet.com/d/fortigate-fortios-5.4.0-feature-platform-matrix>

SSL VPN setting page

デフォルトのサーバ証明書がFortinet_Factoryへ変更となりました。ただし、self-signedオプションを選択しているFortiGate-VMを除きます。CA署名証明書インポートの詳細については、下記ドキュメントをご確認下さい。

How to purchase and import a signed SSL certificate

<http://docs.fortinet.com/d/fortigate-how-to-purchase-and-import-a-signed-ssl-certificate>

5. FortiAnalyzer サポートについて

FortiOS Ver5.0 MR4 Patch4 は下記アドレスに掲載の FortiAnalyzer のバージョンをサポートしています

<http://docs.fortinet.com/d/fortianalyzer-compatibility>

FortiGate のアップグレード前に FortiAnalyzer のアップグレードを行う必要があります。

6. FortiManager サポートについて

FortiOS Ver5.0 MR4 Patch4 は下記アドレスに掲載の FortiManager のバージョンをサポートしています。

<http://docs.fortinet.com/d/fortimanager-compatibility>

FortiGate のアップグレード前に FortiManager のアップグレードを行う必要があります。

7. FortiAP サポートについて

FortiOS Ver5.0 MR4 Patch4 は FortiAP の以下のバージョンをサポートしています。

- Ver5.0 MR4 Patch1 以上
- Ver5.0 MR2 Patch5 以上

※FortiAP の推奨バージョンは FortiAP の機種によって異なるため、FortiAP をアップグレードする際には担当営業までご連絡下さい。

8. FortiExplorer サポートについて

FortiOS Ver5.0 MR4 Patch4 は FortiExplorer の以下のバージョンをサポートしています。

- 2.6 build 1083 以上

※いくつかのFortiGateモデルでは特定のFortiExplorerをサポートしていない可能性がございますのでご注意ください。

9. Explicit web proxy ブラウザサポートについて

FortiOS Ver5.0 MR4 Patch4 の Explicit web proxy 機能では下記 Web ブラウザをサポートしています。

※こちらは FortiGate をプロキシサーバとして利用する際にサポートされているブラウザとなります。管理アクセスを行う際のブラウザとは異なりますためご注意ください。

- ・Microsoft Edge 25
- ・Microsoft Internet Explorer versions 11
- ・Mozilla Firefox Version 45
- ・Apple Safari Version 9.1 (For Mac OS X)
- ・Google Chrome Version 51

※他のウェブブラウザで正常に動作しても、サポート致しかねますのでご注意ください。

10. SSL-VPN サポートについて

トンネルモードの場合

FortiOS Ver5.0 MR4 Patch4 は以下の OS 用の SSL VPN トンネルクライアントのインストーラ(build2332)をサポートしています。

Microsoft	Windows 10 (32-bit&64-bit) Windows 8.1 (32-bit&64-bit) Windows 8 (32-bit&64-bit) Windows 7 (32-bit&64-bit) Windows XP SP3 (32-bit)
Linux	CentOS 6.5 (32-bit&64-bit) Ubuntu 12.0.4 (32-bit&64-bit)
Virtual Desktop	Microsoft Windows 7 SP1 (32-bit)

ウェブモードの場合

以下のオペレーティングシステムとウェブブラウザが SSL VPN のウェブモードでサポートされています。

OS	ウェブブラウザ
Microsoft Windows7 SP1 (32-bit/64-bit)	Microsoft Internet Explorer Version 11 Mozilla Firefox Version 46
Microsoft Windows 8/8.1 (32bit/64bit)	Microsoft Internet Explorer versions 11 Mozilla Firefox Version 46
Mac OS 10.9	Safari 7
Linux CentOS Version 6.5	Mozilla Firefox Version 46

※その他のオペレーションシステムやウェブブラウザで正常に動作しても、サポート致しかねますのでご留意下さい。

11. 仮想ソフトウェアサポートについて

FortiOS Ver5.0 MR4 Patch4 は以下の仮想ソフトウェアをサポートしています。

Citrix	XenServer versions 5.6 Service Pack 2 XenServer versions 6.0 以上
Open Source	XenServer versions 3.4.3 XenServer versions 4.1 以上
Linux KVM	RHEL 7.1/Ubuntu 12.04 以上 CentOS 6.4 (qemu 0.12.1) 以上
Microsoft	Hyper-V Server 2008 R2, 2012, 2012 R2, 2016
VMware	ESX versions 4.0, 4.1 ESXi versions 4.0, 4.1, 5.0, 5.1, 5.5, 6.0, 6.5

12. 推奨 Web ブラウザ

FortiOS Ver5.0 MR4 Patch4 は下記 Web ブラウザをサポートしています。

- Microsoft Edge 25
- Microsoft Internet Explorer versions 11
- Mozilla Firefox Version 46
- Google Chrome Version 50
- Apple Safari versions 9.1 (For Mac OS X)

※他のウェブブラウザで正常に動作しても、サポート致しかねますのでご留意下さい。

以上